

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	地域の協力を得た避難訓練が出来ていない。職員間で消火器の位置や使用方法、利用者の状態に応じた誘導方法など、実際的な訓練が出来ていない。	地域との共同的な災害訓練を行う。	運営推進会議にて区長さんより災害訓練の協力について快く協力しますと返答を頂く。また、消防署からも指導については参加しますと返答を頂く。ホームにて訓練計画を作成し消防署及び区長さんに協力依頼を行う。	3ヶ月
2	2	地域との交流が少ない。	地域との交流を深めていく。	運営推進会議にて地域の集まり等の情報を頂き今後、参加を行っていく。また、地域に対してホームの開放を行うなど積極的に地域交流を行う。	3ヶ月
3	49	全利用者について日常的な外出支援が行えていない。	週に1、2回のペースで散歩等を取り入れていく。	業務の時間を調整し散歩等を積極的に取り入れる。	1ヶ月
4	6	外門の施錠を常時行っている。	外門の施錠を行わなくても事故が起きないように検討を行う。	運営推進会議にて検討を行ったが、利用者の離設時に事故が起きることが想定されるため施錠はやむ得ないとの意見が出る。ただ、災害時においては消防より緊急時においては障害になる物については破壊してでも救出するため外門の施錠は特に問題なしと意見がある。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。